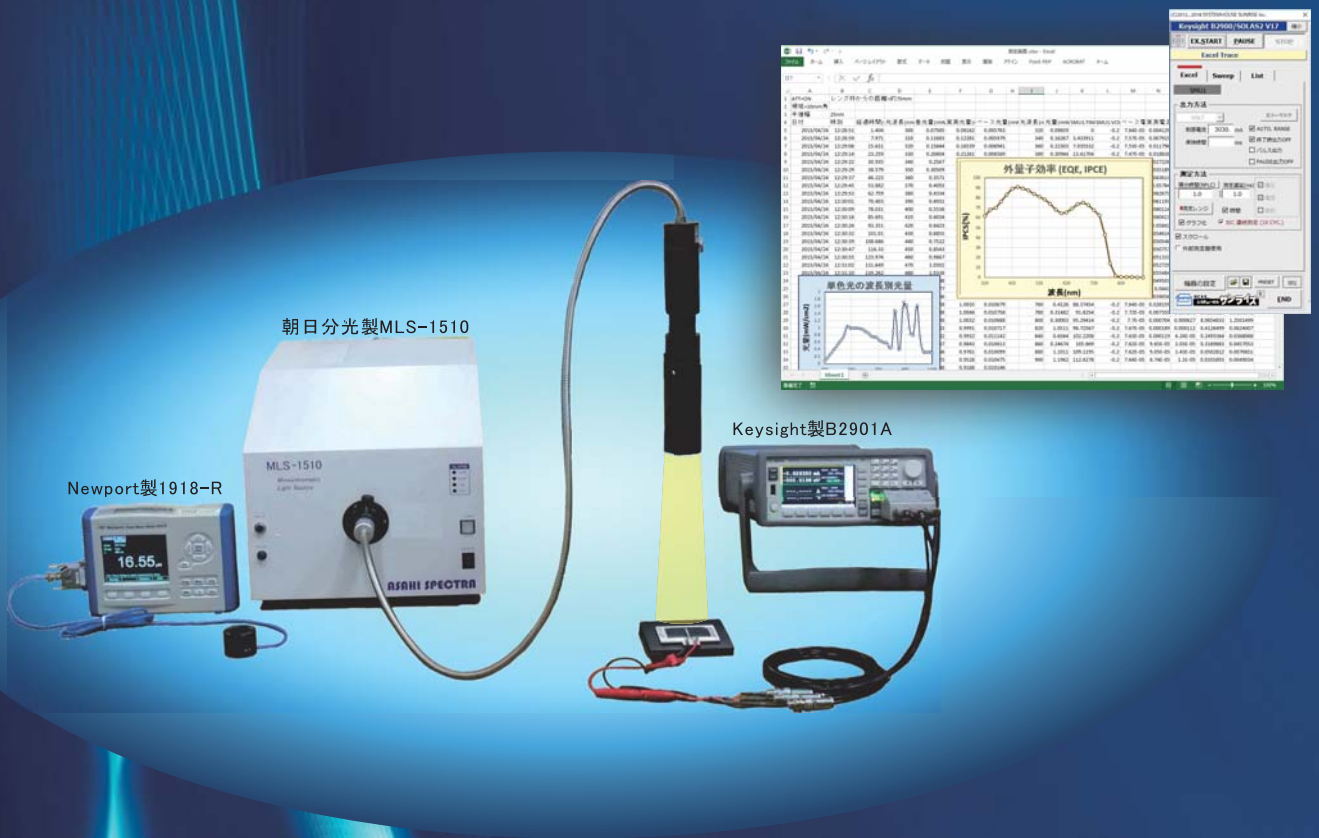


MS-Excel上で動作する
簡単操作で、高精度測定

- 有機系太陽電池向け
- I-V測定フル機能サポート

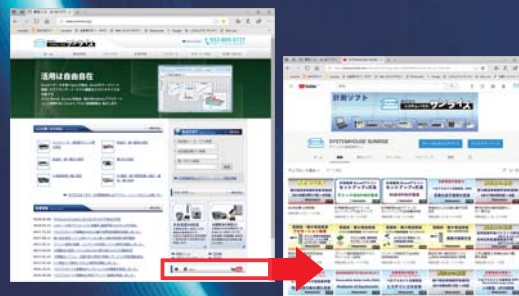
分光感度/量子効率測定ソフト



朝日分光製MLS-1510

Newport製1918-R

Keysight製B2901A



弊社HPのYoutube動画を参照ください

分光感度・外部量子効率・IV測定システム



推奨システム構成

分類	品番	内訳 (PCは含まれません。)	価格
分光光源セット (朝日分光製)	MLS-1510(FullSet)	朝日分光製 MLS-1510、固定スタンド、ロッドレンズ(0.5倍)、ストレートファイバ 波長 250nm~1100nm、照射領域 13mm角~69mm角	2,605,000円
EQE測定セット (各社測定器類)	EQE-MEAS-SET01	測定器 Keysight製 B2901A、光パワーメータ Newport製 1918-R,818-UV/DB GPIB-USB変換機、セル接続用ケーブル(S4W-03)	1,140,000円
計測ソフトウェア	W32-B2900SOLAS2-R	計測制御ソフトウェア一式	1,020,000円

価格は、予告なく変更される場合があります。パソコンは上記価格に含まれておりません。
上記システム構成は、ご要望により下記の機器との入換が可能です。その場合、別途お見積りになります。
IV測定には、別途、ソーラーシミュレータが必要です。

合計金額 4,765,000円

注)消費税は含まれておりません。

本ソフトは、下記の機器との組合せが可能です。

分光光源



朝日分光製
MLS-1510



朝日分光製 定エネルギータイプ
PVL-3300,PVL-3310,PVL-4000EX



朝日分光製 高出力
CMS-250 + MAX-350

測定器 SMU/ソースメータ



Keysight製
B2901A,B2902A
B2911A,B2912A

光パワーメータ



Newport製
1918-R,818-UV/DB



Newport製
1936-C,818-UV/DB



Newport製
843-R-USB,818-UV/DB
注)測定が遅い



OPHIR製
NOVA2



ADC製
8250A+82311B

ソーラーシミュレータ 白色バイアス光源



朝日分光製
HAL-C100



朝日分光製
1-SUNチェッカー

太陽電池接続ケーブル



TRX/ローノイズケーブル
S4W-04



4端子接続ケーブル
S4W-03

GPIB-USB変換器



ラトックシステム製
REX-USB220

測定システムの特徴と機能

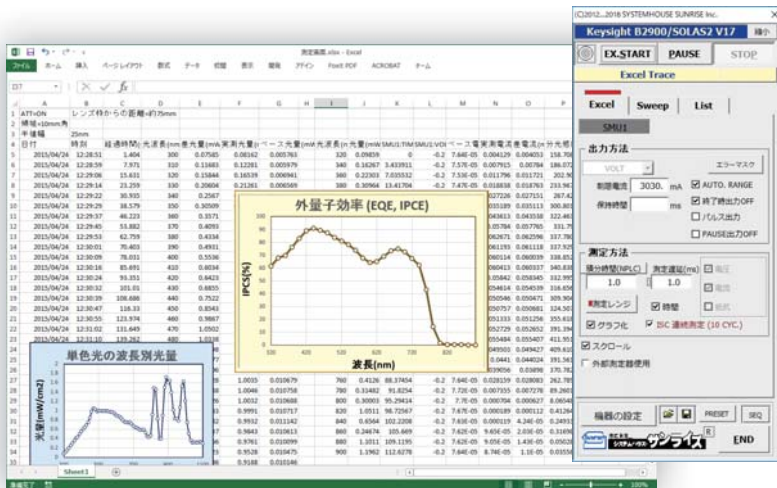
特徴

最新機器の採用で簡素な測定システム



- 分光感度/量子効率測定の原点に立ち返り、最新の機器を前提に測定システムを構成しました。過去の計測機器の性能を前提として考えられた従来の複雑な測定システムも、最新の機器の性能を前提にシステムを考えるとこのようにシンプルになります。シンプルな機器構成ですから、移動が簡単です。
- 測定に使用される機器は、すべて計測器メーカーの市販品を使用していますから、測定値は国家計量標準とのトレーサビリティが確保されています。また、故障の場合も復帰が容易になります。
- 計測ソフトは、IV測定機能をフルサポートしていますから、ソーラーシミュレータを追加すれば、完全なIV測定も可能です。

Excel上での簡単操作、有機系セル対応



- 多くの有機系セルの測定経験から、有機系セルを正確に測定するための弊社独自の多くの測定機能をサポートしております。
- 計測ソフトは、Excel上で操作するアドイン形式になっています。測定結果はリアルタイムにExcelシートへ入力/作図されます。そのため、測定結果の取り扱いが大変便利になります。
- 計測ソフトが全ての機器をフルコントロールしますから、オペレータは機器の電源をONにするだけです。

主な機能

基本仕様

測定対象物	無機系/有機系太陽電池などの分光感度測定対象物		
基本的測定項目	絶対分光感度(mA/W)	外部量子効率 EQE,IPCE(%)	I-V測定
測定方法	DC法		

● 単色光出力仕様

分光光源 MLS-1510の場合
(0.5倍レンズ)

測定波長範囲	250~1100nm
照射領域	13~69mm角
波長純度	5,10,25nm
グレーティング	600本/mm
ランプ	キセノン150W
ランプ寿命	3000h
最小波長送り	1nm

● 光量測定仕様

Newport 1918-R/818-UVの場合
(アッテネータON)

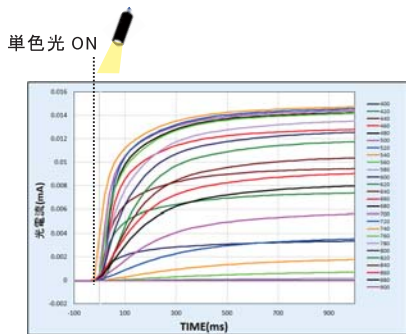
ディテクタ	UV Enhanced Silicon
測定確度	220~249nm ±2%
	250~949nm ±1%
	950~1100nm ±4%
最大定格	30W/cm ²

● 電氣的測定仕様

Keysight B2901Aの場合

最大出力	210V/0.1A, 21V/1.5A 6V/3A
出力分解能	1uV/1pA
測定感度	0.1uV/0.1pA
電流測定確度	測定値により異なる。 例: 1mAレンジ 読み値の0.02%+0.2uA

光電流応答特性の測定



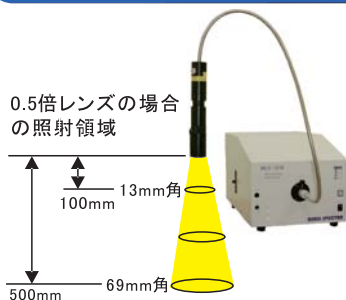
DSCの波長別光電流応答特性

光電流の応答遅れを定量的に測定することは、有機系セルの量子効率を正確に測定するために大変重要です。DSCの光電流応答遅れによる分光感度/量子効率測定値の不確かさは、従来より良く知られておりますが、近年注目されているペロブスカイト太陽電池(順構造)では、さらにこの現象が顕著に現れます。

これらの現象による不確かさを回避するためには、実際に測定に使用する測定系で対象となるセルの光電流応答特性を定量的に測定する必要があります。光電流応答特性が把握できれば、適切な測定条件が設定でき、不確かさを回避することができます。応答特性は、セルの材料、構造によることはもちろんですが、単色光の光量、波長などによっても変化します。

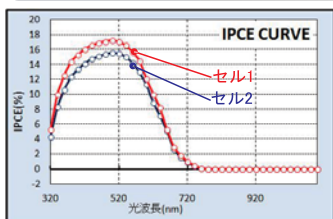
注)本機能で無機系セルのような高速なセルの応答性の測定はできません。時間幅5sec、サンプリング2ms程度が最速になります。

大きなセルでも単色光を全域照射



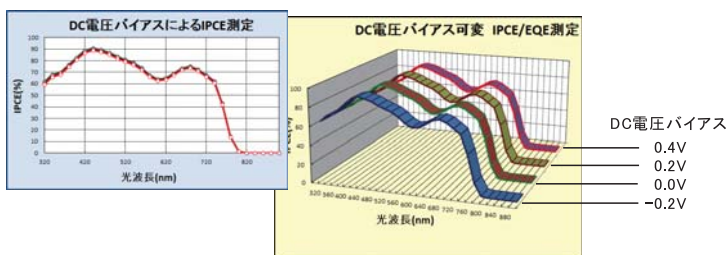
正確な分光感度/量子効率測定では、セル全域へ単色光の照射が必要です。市販されている多くの分光感度測定器は、3mm角/5mm角/10mm角ですので、それ以上大きなセルは正確な分光感度測定は期待できません。本測定システムの分光光源は、レンズのフォーカスの調整で照射領域を広範囲に可変できます。(左図参照) また、レンズの交換でさらに広範囲の単色光照射が可能になります。(照射領域の拡大とともに、光量は低下します。) 詳細は、朝日分光社ロッドレンズの仕様準じます。

2セルの同時EQE/IPCE測定



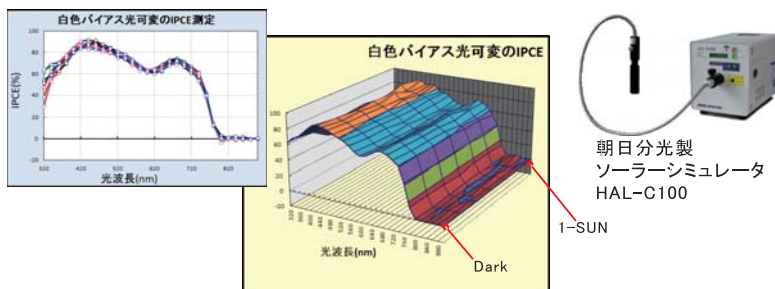
SMU(ソースメータ)に、2chタイプのB2902A/B2912A(Keysight製)を使用すれば、2つのセルを同時に測定ができます。同時に測定することにより、2つのセルのデリケートな特性の違いを観測できます。また、測定時間の短縮になります。2つのセル全域に単色光を照射するためには広い照射が必要ですが、上述のようにレンズのフォーカス調整で可能になります。

DC電圧バイアス可変EQE/IPCE測定



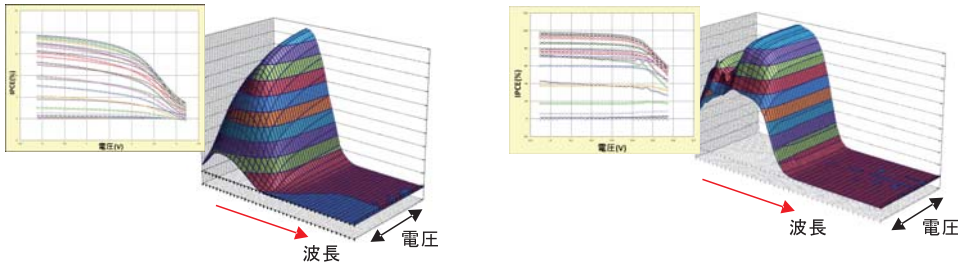
DC電圧バイアス値を自動的に変更しながら、各バイアス値の分光感度/量子効率の測定を繰り返します。測定結果は、Excelの作図機能で3D表現が可能です。

白色光バイアス可変EQE/IPCE測定



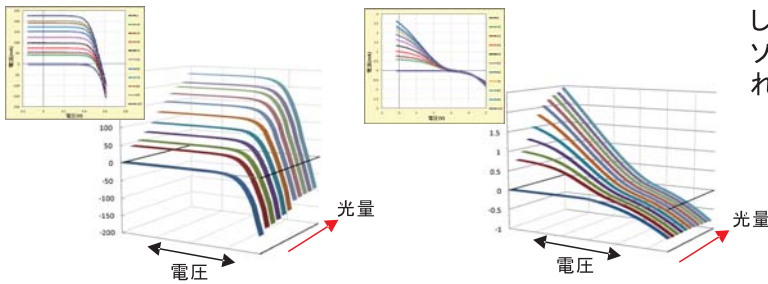
ソーラーシミュレータを追加すれば、白色バイアス光として使用できます。ソフトウェアは、0.05~1.0SUNの範囲で光量を変更しながら、各光量での分光感度/量子効率の測定を繰り返します。ここで使用可能な白色バイアス光源(ソーラーシミュレータ)は、朝日分光社製HAL-C100型に限られます。

波長別I-V測定

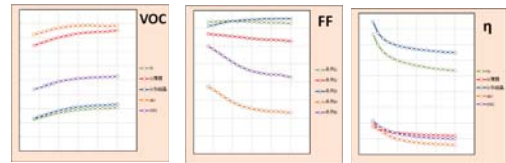


分光光源の波長を変更しながら、波長ごとのI-V測定を、連続的に繰り返します。

ソーラーシミュレータ光量可変I-V測定



ソーラーシミュレータを追加することにより、光量を変更しながらI-V測定を、連続的に行うことができます。ソーラーシミュレータは、朝日分光製HAL-C100に限られます。光量の可変範囲は、0.05~1.0 SUNの範囲です。



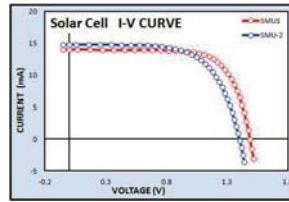
VOC,FF,変換効率の光量依存性測定例

JISに準じたI-V測定

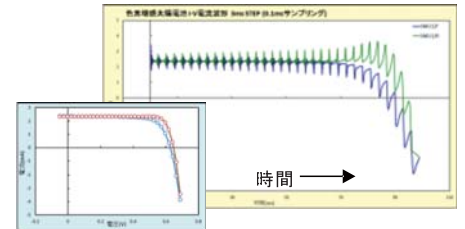
● 太陽電池のIV測定パラメータ算出

- | | |
|------------------|---------------|
| ① 短絡電流(Isc, Jsc) | ⑥ 曲線因子(FF) |
| ② 開放電圧(Voc) | ⑦ 直列抵抗(Rs) |
| ③ 最大出力(Pmax) | ⑧ 並列抵抗(Rsh) |
| ④ 最大出力動作電圧(Vmax) | ⑨ 電圧規定電流(Iv) |
| ⑤ 最大出力動作電流(Imax) | ⑩ 電流規定電圧(Vi) |
| ⑥ 曲線因子(FF) | ⑪ 変換効率(eta) |
| ⑦ 直列抵抗(Rs) | ⑫ 入射光エネルギー(W) |
| | ⑬ 周囲温度 |

● SMU 2chタイプによる2セル同時IV測定



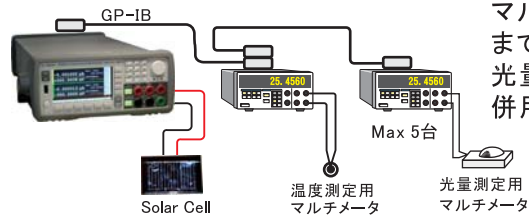
● ヒステリシス解析機能



● セルの長期耐久性評価



● 温度/光量などの周辺環境の測定



マルチメータ(GPIB付き)を5台まで接続できますから、温度、光量など最大5種類の信号の併用測定ができます。

※ I-V測定の詳細は、別カタログをご用意しております。

周辺光の遮蔽方法について

本ソフトは、常に周辺光(暗光量)を測定し、その光量を補正して測定しますから、周辺光が安定していればあまり厳密な光の遮蔽を必要としません。

しかし、測定中に周辺の光量が変化しますと誤差要因になりますし、周辺光がセルのバイアス光として反応する場合がありますから、ある程度のセル周辺の光の遮蔽を行っていただくことをお勧めします。

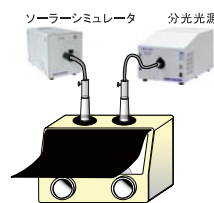
部屋全体を暗くするか、または、下記の様に簡易的な暗箱や暗幕を使用する方法もあります。



簡易的な暗箱の例



暗幕を使用した例



グローブボックスの光遮蔽の例



朝日分光製小型簡易暗室

分光感度測定の実状

本測定システムは、有機系太陽電池の分光感度/外部量子効率(IPCE, EQE)を正確に測定することを目的として開発されました。

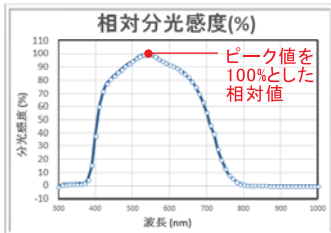
現時点(2018.5)でこの種のJISの規定は、下記の3点があります。

- ・JIS C 8915 結晶系太陽電池分光感度特性測定方法(発行 1995年)
- ・JIS C 8936 アモルファス太陽電池分光感度特性測定方法(発行 1995年)
- ・JIS C 8944 多接合太陽電池分光感度特性測定方法(発行 2009年)

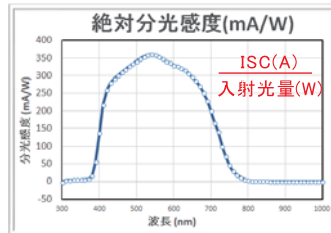
いずれのJISも、無機系太陽電池の測定が前提で、AC法とDC法による相対分光感度(%)の測定方法を規定しております。現在市販されている分光感度測定器は、上記JISの「相対分光感度測定方法」に準じて製作されておりますが、実際には、「絶対分光感度(A/W)」や「外部量子効率(%)」の測定を行っております。

そのため、有機系太陽電池の特異性を考慮していない従来型の測定系では、実際の値から大きく外れた測定値が観測される場合があります。

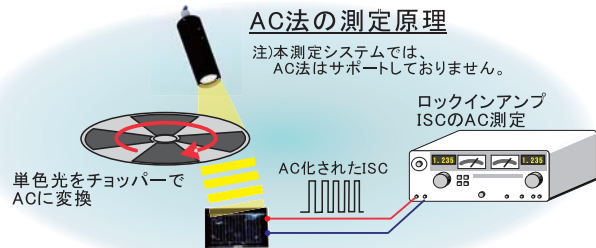
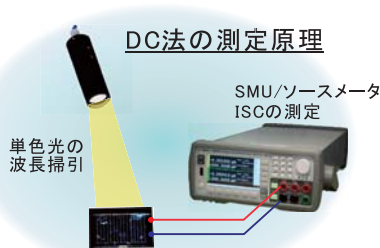
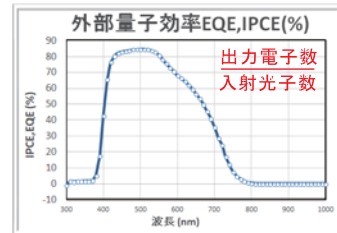
本測定システムは、有機系太陽電池の特異性を考慮し、誤差要因を回避することが主目的となっております。



JISで規定している「相対分光感度」



実際に使用されている「絶対分光感度」や「外部量子効率」



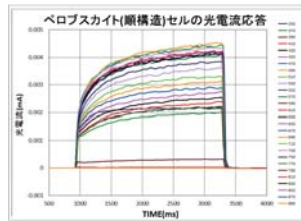
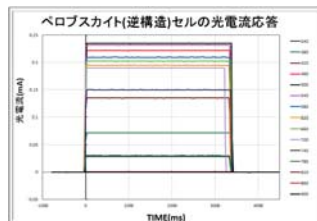
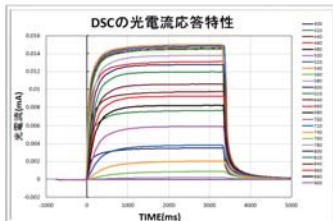
有機系太陽電池の特徴

有機系太陽電池(以下、有機系セル)の正確な分光感度測定を行うためには、測定するセルの光電流応答性を事前に把握しておくことが重要です。無機系セルは、光電流応答が速いため、必要ありません。

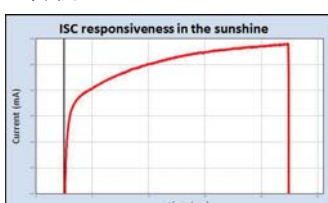
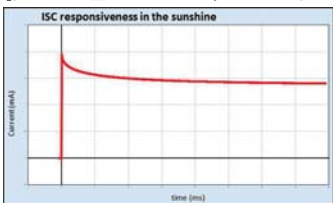
有機系セルでは、セルの構造や材料だけでなく、測定系の単色光の光量や波長などによって、光電流の応答遅れが大きく変化します。

本測定システムでは、この光電流応答特性(応答遅れ)の測定が可能で、また、その応答性に対応した最適な測定条件を設定することができます。

微弱な単色光/波長別の光電流応答特性の例



強い白色バイアス光によるISC応答例

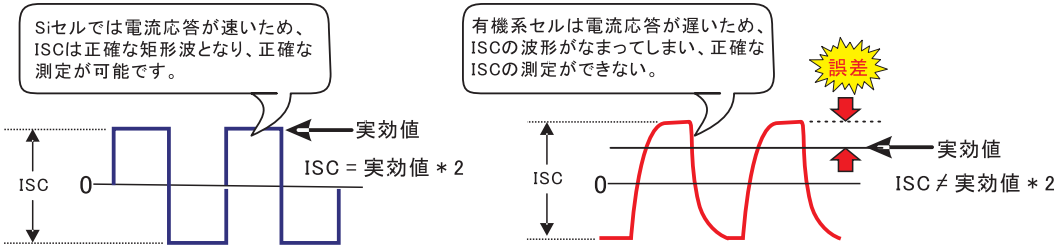


- 有機系セルは、光電流の応答が極端に遅いものがあります。
- 白色バイアス光のISCが長時間にわたり安定しない。

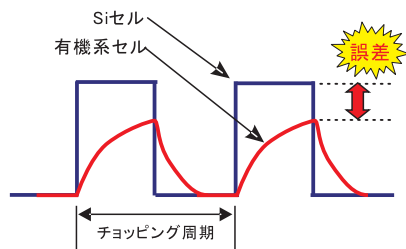
AC法の測定原理に起因する測定誤差

1 ロックインアンプが実効値を測定する測定器であることによる誤差

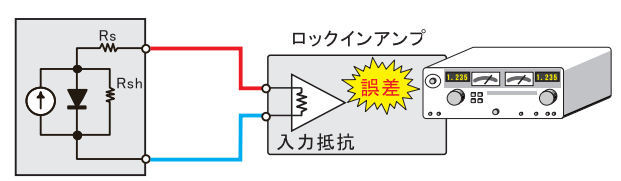
AC法の測定では、ロックインアンプを使用してISCのAC測定を行います。ロックインアンプは、AC化されたISC信号の中から、チョッピング周波数成分だけの信号を取り出し、増幅して、その実効値を測定します。ここで重要なことは、ロックインアンプ(実効値)で正確なISC値を得るためには、ISCの電流波形が正確な矩形波であることが条件になります。



2 単色光のチョッピング周期に、有機系セルの電流応答が追従できないことによる誤差



3 ロックインアンプには入力抵抗があるため、完全な短絡電流(ISC)の測定ができない。

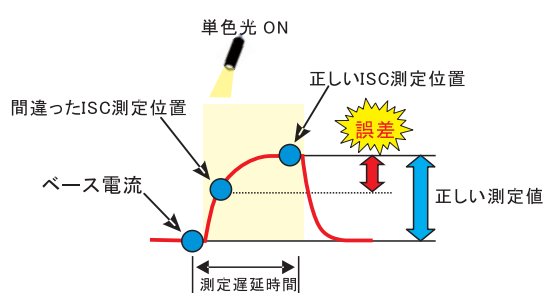


● 有機系セルは、AC法では、原理的に測定誤差を回避できない場合がある。

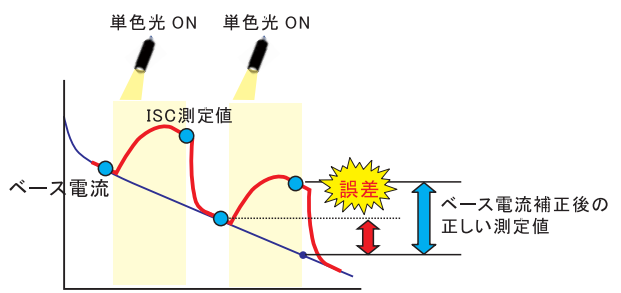
DC法での正確な測定のために！

有機系セルの光電流の応答特性が把握できていれば、適切な測定条件の設定ができますから、DC法で正確な外部量子効率の測定が可能になります。本測定システムは、DC法だけの測定をサポートしています。

1 有機系セルは、光電流の応答遅れが大きいので、ISCの測定には、単色光照射後、十分な遅延時間が必要です。



2 白色バイアス光を照射しながらの量子効率の測定では、バイアス光によるベース電流が常に変化しているため、各波長ごとにベース電流変化分を補正する必要があります。



有機系セルの光電流応答性は、速いものから遅いものまで様々です。有機系セルの中にはAC法で測定誤差を回避できないものもあります。しかし、DC法で適切な測定条件と、適切な補正を行えば、正確な分光感度/量子効率の正確な測定が可能になります。そのため、測定に使用する測定系で、測定対象となるセルの光電流応答性を定量的に測定する必要があります。本測定システムは、セルの光電流の応答性を測定する機能をサポートしております。

● DC法で適切な測定条件と、適切な補正を行えば、有機セルの正確な分光感度/量子効率の測定が可能になります。

● 姉妹品 **モノクロメータ用分光感度/量子効率測定システム**

モノクロ光源 (ユーザーでご用意下さい)

分光計器製
SM-50 + BMS-25C
(250...1200nm)



分類	品番	価格
EQE測定セット (各社測定器類)	EQE-MEAS-SET01	1,140,000円
計測ソフトウェア	W32-B2900SOLBMS2-R	1,020,000円

消費税は含まれていません。

モノクロ光源 (ユーザーでご用意下さい)

島津製作所製
小型分光器 スペクトロメイト
SPG-120S (200...900nm)

モータコントローラ
AT-120PCG

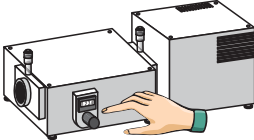


分類	品番	価格
EQE測定セット (各社測定器類)	EQE-MEAS-SET01	1,140,000円
計測ソフトウェア	W32-B2900SOLSPG2-R	1,020,000円

消費税は含まれていません。

モノクロ光源 (ユーザーでご用意下さい)

手動式モノクロ光源



分類	品番	価格
EQE測定セット (各社測定器類)	EQE-MEAS-SET01	1,140,000円
計測ソフトウェア	W32-B2900SOL5-R	780,000円

消費税は含まれていません。

上記の価格は、予告なく変更される場合があります。パソコンは含まれておりません。

【動作環境】

パソコン:MS-Officeが快適に動作する環境:Windows7/8.1/10(32 or 64bit), MS-Office2010/2013/2016(32bit Only)

RAM:Windows7(2GB以上),Windows8.1/10(4GB以上)

ディスプレイ解像度1,024*900以上

【商標】

Windows 7,Windows8.1,Windows10, MS-Office/Excellは、米国マイクロソフト社の商標です。

推奨GP-IBインターフェイス

ソフト型番の末尾が「-R」の場合



製造元	ラトックシステム製
品名	USB2-GPIBコンバータ
型番	REX-USB220
OS	製造元仕様に準ずる。
価格	48,000円(税別)

【USB-RS232C変換器】

製造会社	ラトックシステム(株)
製品名	USB-シリアルコンバータ
型番	REX-USB60F
価格	5,800円



ソフト型番の末尾が「-N」の場合



製造元	ナショナルインスツルメンツ
品名	GPIB-USB-HS+
型番	778927-01
OS	製造元仕様に準ずる。
価格	製造元にお問合せ。



製造元	キーサイト・テクノロジー
品名	USB/GPIBインターフェイス
型番	82357B
OS	製造元仕様に準ずる。
価格	製造元にお問合せ。



製造元	ケースレー
品名	GPIB-USBインターフェイス
型番	KUSB-488, KUSB-488B
OS	製造元仕様に準ずる。
価格	製造元にお問合せ。

注)NI互換モードで使用。

販売店

製造元 〒470-0125 愛知県日進市赤池1-1301

 株式会社
システムハウス・サンライズ
(株式会社システムハウス・サンライズ)
TEL 052-805-5177 FAX 052-805-5144
<http://www.ssunrise.co.jp>